

## 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会先進施設視察

平成 20 年度第 2 回懇話会は、厚木愛甲環境施設組合が目指す環境に配慮した適正な広域ごみ処理施設整備に向けて参考にするため、環境に優しい次世代型焼却処理施設を目標として平成 14 年 12 月に完成した埼玉県川口市の朝日環境センター・リサイクルプラザの視察を行いました。当日は、概要説明や施設見学後、施設の維持管理や資源化などについて熱心な質疑応答がされました。

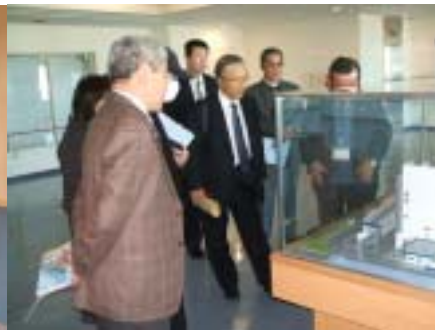


敷地面積 31,025 m<sup>2</sup>  
焼却炉 420 t/日(140 t/日・炉×3 基)  
(流動床式ガス化熔融炉)

- 1 日 時 平成 21 年 1 月 23 日 (金)
- 2 場 所 朝日環境センター・リサイクルプラザ (埼玉県川口市)
- 3 参加人数 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会委員 7 人



センター所長の説明



施設模型で説明を受ける



資源物は 11 品目に分けている

### 【主な質疑応答】

Q . 当該地に施設を設置した経過について

A . 当時川口市内で用地を取得することは非常に困難であった。何とか用地を取得しなければいけない時期に工場跡地を譲渡する話がありその土地を取得した。最初は住民からの反対運動が起こったものの行政と住民と一緒に議論を重ねた結果合意がなされ建設した。

Q . 環境対策について

A . ダイオキシン規制値が法規制値 0.1 に対して 0.05 まで下げて、高い数値が出た場合はすぐに炉を停止して原因追及をすることと協定書で規定した。

Q . 採用技術の選定経過について

A . 市民の声を聞いて決めるという動きがあり、さまざまな団体等の代表 21 名で構成された委員会が設置され焼却炉の型式について、公害の防止性や最終処分量などの観点から検討し選定を行った。

Q . 余熱利用方法について

A . 発電、給湯、余熱利用施設に利用している。

Q . スラグ、有価物の有効利用について

A . スラグは 19 年度実績で 11,213 t、235 万円、二酸化鉄は 1,300 t、約 4,000 万円、二酸化アルミが 100 t、1,000 万円で売却されている。